

キリングループ 2020年4月販売概況レポート

日頃から大変お世話になっております。キリングループの4月販売概況について、下記の通りご案内いたします。

記

1. キリンビール社

- ビール類計は、市場が対前年 79%程度と推定される中、当社は 87%となった。
- ビール計は、市場が対前年 48%程度と推定される中、当社は 51%となった。
- 発泡酒計は、市場が対前年 101%程度と推定される中、当社は 100%となった。
 - ・外出自粛が続く中、運動不足による懸念から健康志向が高まり、当社の糖質オフゼロ系商品（新ジャンル含む）※¹は前年比約 1 割増と好調に推移した。 ※¹：「淡麗グリーンラベル」、「淡麗プラチナダブル」、「のどごし ZERO」、「濃い味<糖質0>」
- 新ジャンル計は、市場が対前年 107%程度と推定される中、当社は 106%となった。
 - ・「本麒麟」は前年比 139%となり、14 カ月連続※²の前年超えを達成した。 ※²：2018年3月～2020年4月の販売数量
- RTD 計は、122%となった。

| カテゴリー | 前年比 |
|--------|------|
| ビール類計 | 87% |
| ビール計 | 51% |
| 発泡酒計 | 100% |
| 新ジャンル計 | 106% |
| RTD 計 | 122% |

2. メルシャン社

- 家庭用ワインについて認知度の高いブランドが選ばれており、「無添加」「フロンテラ」の販売が好調に推移した。

| カテゴリー | 前年比 |
|----------|------|
| ワイン合計 | 97% |
| 国内製造ワイン計 | 106% |
| 輸入ワイン計 | 89% |

3. キリンビバレッジ社

- 健康意識の高まりを背景に、プラズマ乳酸菌入りの「iMUSE」ブランドは単月前年比約 3 倍と好調に推移したが、CVS・自動販売機チャンネルを中心とした外出自粛による需要減などの影響で、清涼飲料合計は単月前年比 77%で着地した。

| カテゴリー | 前年比 |
|--------|-----|
| 清涼飲料合計 | 77% |

以上